

IXIL ラシッサ 室内引戸(アウトセット方式) 取付け説明書



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 施工時は必ず下記をお守りください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。
- ・補強材は硬木を使い、指定位置の躯体に固定してください。
(硬木：厚さ24×高さ70mm以上)
- ・内装ボード、合板のみには取付けできません。
- ・同梱のねじおよび指定の本数で固定してください。
- ・吊車はレバーが下がるまで入れてください。



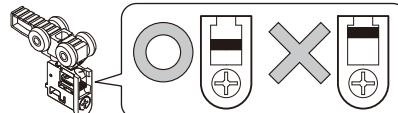
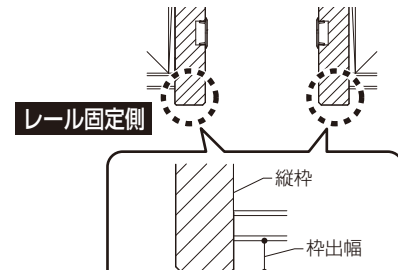
保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体はソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 本体部品が損傷し開閉不良の原因になるので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれの原因になるので、寝かせた状態で保管してください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。
- 玄関設置の場合は必要に応じて以下部品を別途手配してください。
取付けは各同梱の説明書を参照ください。
- ・クローゼット引戸アウトセット用部品セット
- ・クローゼット引戸アウトセット入隅部材セット

アウトセット引戸
レールセットの
施工手順動画



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	指定の位置に硬木の補強材は設置していますか？	☐
2	吊車を上レールに正しい向きで入れましたか？	☐
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？ 	☐
4	【固定枠納まりの場合】縦枠の枠出幅は見込みによって変えていますか？ ※入隅用縦枠の出幅は変わりません。 	☐
見込み		NC95、NC115
枠出幅		NC90、NC140、NC156、NC171、NC180
		12.5mm
		13mm

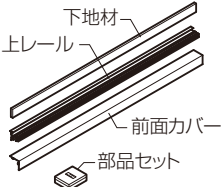
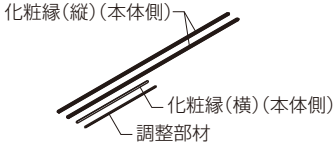
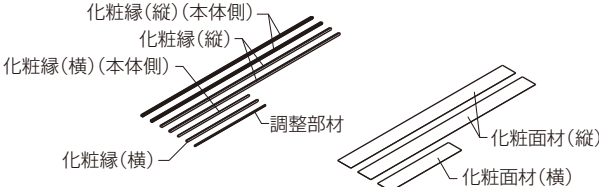
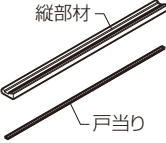
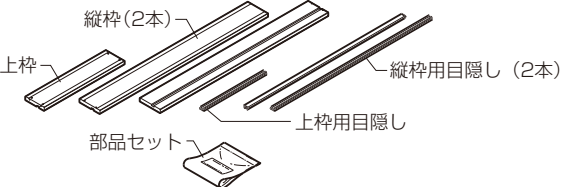
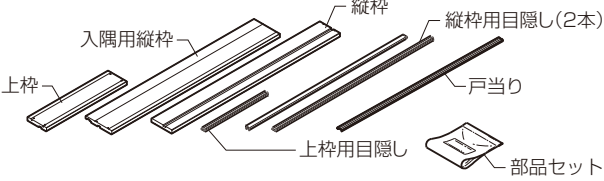


このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部品・部材の明細

※1 枠はノックダウン、本体は完成品

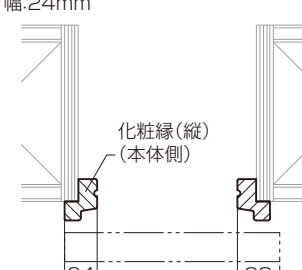
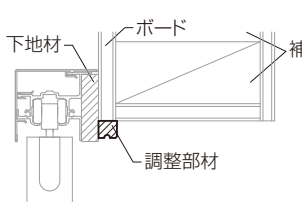
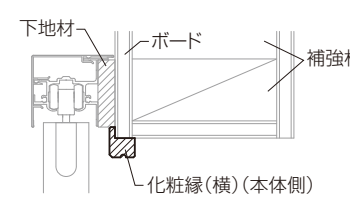
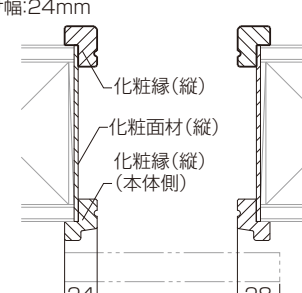
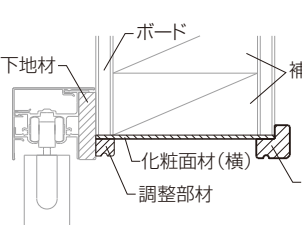
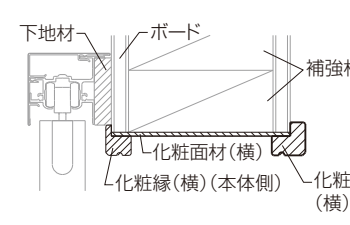
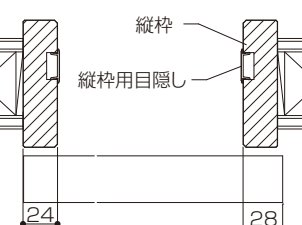
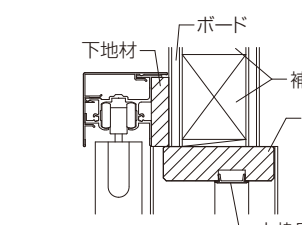
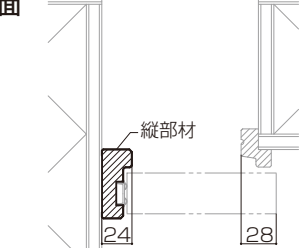
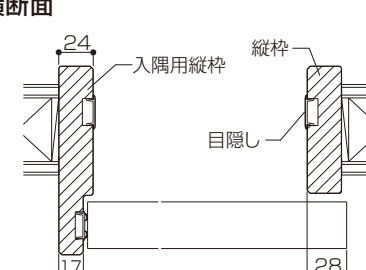
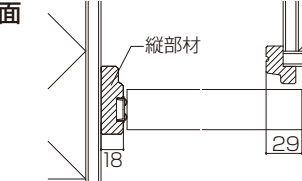
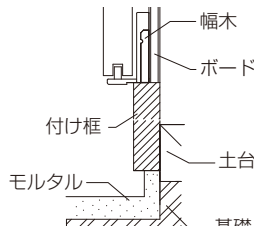
※2 別売品

片引戸用本体※1  1枚梱包
枠(レールセット)※1 
化粧縁片面セット※2 
化粧縁両面セット※2 
入隅用縦部材セット※2 
平入用固定枠セット※2 
入隅用固定枠セット※2 

■取付け前の準備

■納め方の確認

納まりによって、参照するページが異なります。どの納め方が最初に確認してください。

平入納まり	a 片面化粧縁納まり ●横断面 見付け幅:24mm  化粧縁(縦) (本体側) 24 28 P5~	【上部調整部材使用納まり例】 ●縦断面  下地材 ボード 補強材 調整部材	【上部化粧縁使用納まり例】 ●縦断面  下地材 ボード 補強材 化粧縁(横)(本体側)
b 両面化粧縁納まり	●横断面 見付け幅:24mm  化粧縁(縦) 化粧面材(縦) 化粧縁(縦) (本体側) 24 28 P5~	【上部調整部材使用納まり例】 ●縦断面  下地材 ボード 補強材 化粧面材(横) 調整部材 化粧縁(横)	【上部化粧縁使用納まり例】 ●縦断面  下地材 ボード 補強材 化粧面材(横) 化粧縁(横)(本体側) 化粧縁(横)
c 固定枠納まり	●横断面  縦枠 縦枠用目隠し 24 28 P4~	●縦断面  下地材 ボード 補強材 上枠 上枠用目隠し	
入隅納まり	●横断面  縦部材 24 28 P5~	e 固定枠納まり ●横断面  入隅用縦枠 縦枠 目隠し 24 17 28 P4~	
クローゼット引戸 アウトセットタイプ	【下部納まり(玄関設置時)】 ●横断面  縦部材 18 29	【入隅納まり(玄関設置時)】 ●縦断面  幅木 ボード 付け框 モルタル 土台 基礎	

1 固定枠の開口部の作り方 (c・e固定枠納まりの場合)

開口部の作り方上のお願ひ

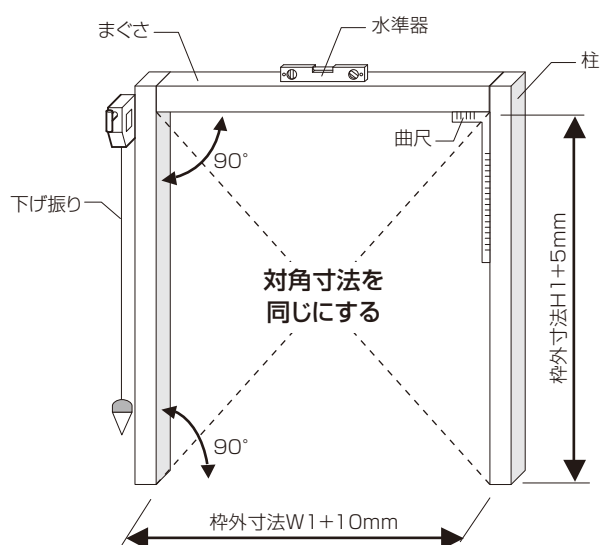
- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。

【軽量鉄骨に施工する場合】

軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- 開口は、枠外寸法に対して高さ：H1+5mm、幅：W1+10mmで作ってください。

※開口は必ず、水平垂直にしてください。



●W方向寸法

(単位:mm)

W呼称	W 上レール外法	平入納まり W1 固定枠外法	入隅納まり W1 固定枠外法
W13	1324	652	672
W15	1560	770	790
W16	1644	812	832
W18	1824	902	922
特寸	W	(W-20)/2	(W+20)/2

●H方向寸法

H呼称	H 床～レール上寸法	H1 固定枠高さ
H20	2030	1978
特寸	H	H-52

■対応壁厚について

	壁厚 (mm)	
	幅木6mm	幅木9mm
NC90	59～69	59～66
NC95	64～75	64～72
NC115	83～95	83～92
NC140	107～119	107～116
NC156	126～135	123～132
NC171	138～150	138～147
NC180	147～159	147～156

2 固定枠取付けの準備 (c・e固定枠納まりの場合)

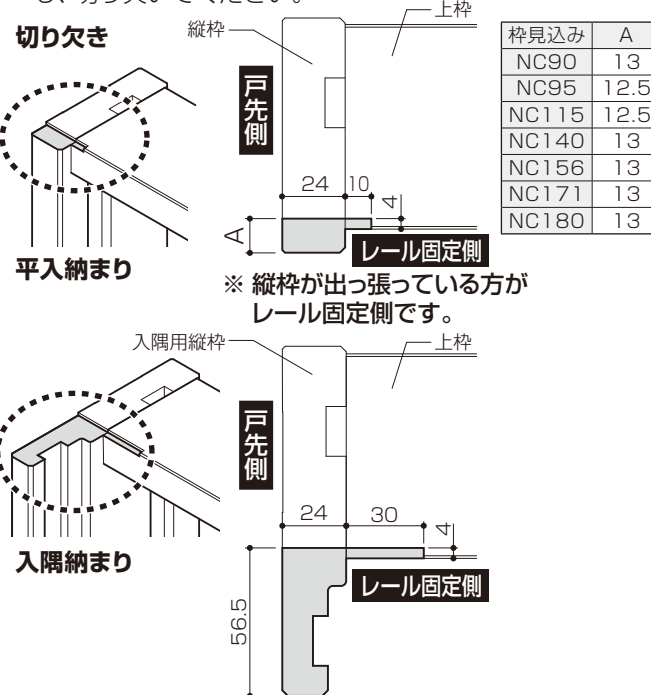
■固定枠の加工

部材一覧表

名称	平入用	入隅用
上枠	1	1
縦枠	2	1
入隅用縦枠	—	1

- 端部キャップと干渉する戸先側上部を深さ2mm切り欠きます。

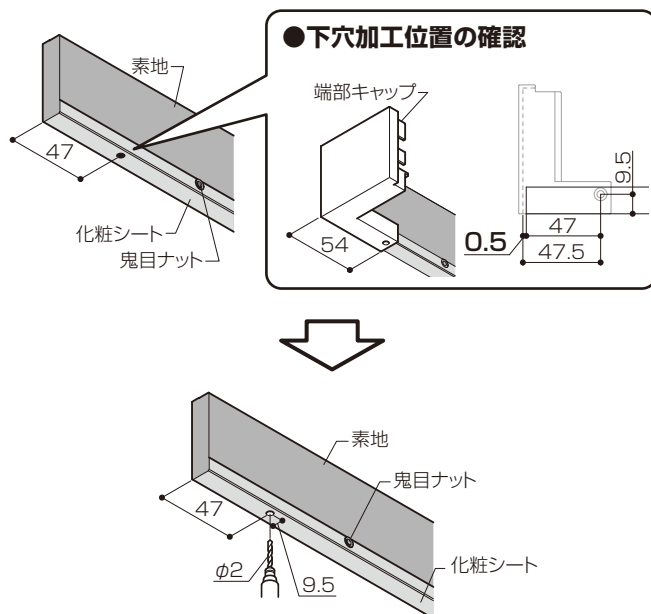
※推奨納まりと異なる納まりの場合は、切り欠き範囲を確認し、切り欠いてください。



■下地材の下穴加工

- 下地材の図の位置にφ2の下穴をあけます。

※端部キャップを当て、穴位置を合わせたときに0.5mm空くことを確認してからあけてください。



3 開口部の作成

▲ 注 意

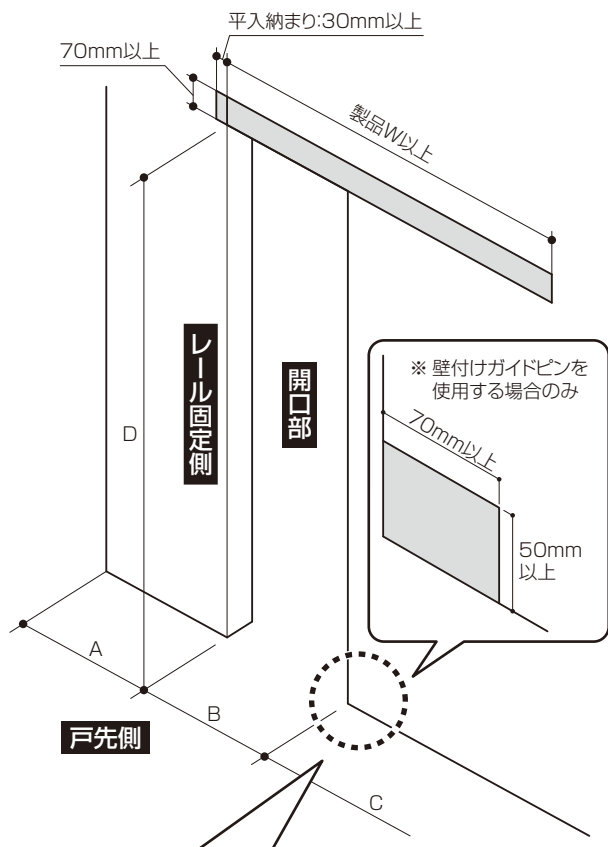


- 下記事項を必ずお守りください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。
- ・ 補強材は硬木を使い、指定位置の躯体に固定してください。
(硬木：厚さ24×高さ70mm以上)
- ・ 内装ボード、合板のみには取付けできません。
- ・ 同梱のねじおよび指定の本数で固定してください。

①下図の指定位置に、下地材取付け用の補強材(厚さ24mm以上)を入れてください。

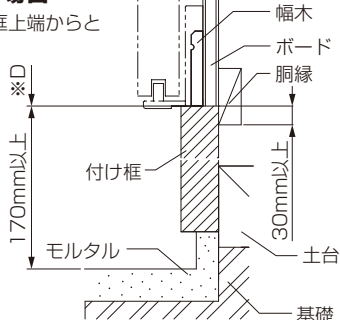
②開口部を右の寸法表にしたがって作成してください。

(図はレール固定側から見たL勝手を示します。R勝手は対称となります。)



● 玄関設置の場合

※D寸法は付け框上端からとなります。



据付け上のお願

- 下表は壁を仕上げた状態を示します。
【玄関設置の場合】
- 本体下端が土間から170mm以上確保できるように下地材を取付けてください。
(本製品は防水仕様ではありません。)
- 付け框を必ず取付けてください。
- 胴縁を取付ける場合は必ず付け框に30mm以上胴縁がかかるようにしてください。

※推奨納まりと異なる納まりの場合も、上レールおよび壁付けガイドピン固定箇所には必ず補強材を入れるよう確認してください。

a 片面化粧縁納まり

(単位:mm)

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	30以上	632以下	662以上
W15	1560	774	30以上	750以下	780以上
W16	1644	816	30以上	792以下	822以上
W18	1824	906	30以上	882以下	912以上

※ $B+C+30 \geq W$ を満たすこと。

	H	DH	D	
			化粧縁	調整材
H20	2030	1973	1970以下	1993
特寸	H	H-57	H-60以下	H-37

b 両面化粧縁納まり

(化粧面材を使用しない場合は、aと同じ範囲です。)

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	27以上	638以下	659以上
W15	1560	774	27以上	756以下	777以上
W16	1644	816	27以上	798以下	819以上
W18	1824	906	27以上	888以下	909以上

※ $B+C+27 \geq W$ を満たすこと。

	H	DH	D	
			化粧縁	調整材
H20	2030	1973	1973以下	1996
特寸	H	H-57	H-57以下	H-34

c 固定枠納まり

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	20以上	652	652以上
W15	1560	774	20以上	770	770以上
W16	1644	816	20以上	812	812以上
W18	1824	906	20以上	902	902以上

※ $B+C+20 \geq W$ を満たすこと。

※B寸法は固定枠の枠外寸法を示します。

	H	DH	D
H20	2030	1973	1978
特寸	H	H-57	H-52

d 化粧縁納まり

(単位:mm)

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	0	662以上	662以上
W15	1560	774	0	780以上	780以上
W16	1644	816	0	822以上	822以上
W18	1824	906	0	912以上	912以上

※ $B+C \geq W$ を満たすこと。

※H開口は、aと同じです。

e 固定枠納まり

	W	DW	A	B	C
W13	1324	656	0	672	652以上
W15	1560	774	0	790	770以上
W16	1644	816	0	832	812以上
W18	1824	906	0	922	902以上

※ $B+C \geq W$ を満たすこと。

※H開口は、cと同じです。

※B寸法は固定枠の枠外寸法を示します。

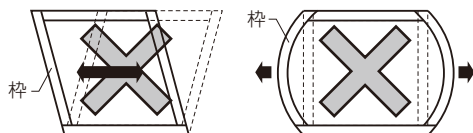
平入納まりの場合

入隅納まりの場合

4 固定枠の組立て(c・e固定枠納まりの場合)

固定枠の組立て上のお願ひ

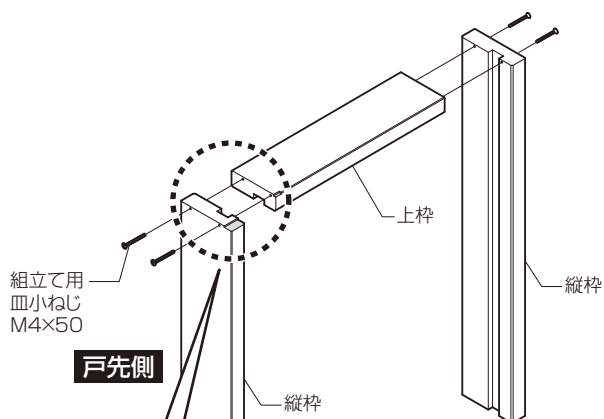
- 組立て不良になるので、下記事項をお守りください。
- ・組立てねじは縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。
- ・過度な締め付けを行わないでください。
- ※電動ドライバーはクラッチ付きを使用してください。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



■固定枠部品セット一覧表

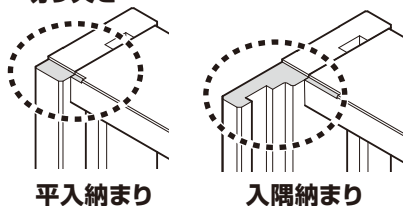
名称	数量
組立て用 皿小ねじM4×50	4
縦枠取付け用 DNねじφ3.8×50	13

- 下図のように同梱のねじで枠を組み立ててください。
- ※2固定枠取付けの準備、枠加工が完了していることを確認してください。



固定枠戸先側上部は枠の組立て前に切り欠き加工が必要です。(詳細はP.4へ)

切り欠き



平入納まり

入隅納まり

5 固定枠の取付け(c・e固定枠納まりの場合)

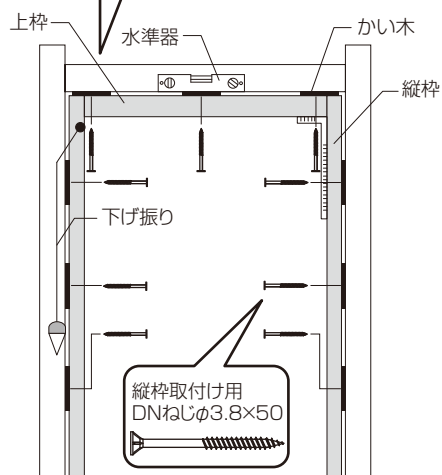
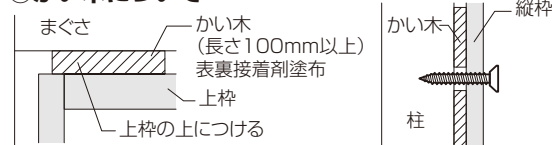
固定枠取付け上のお願ひ

- 枠の垂下がり・開閉不良の原因になるので下記事項をお守りください。
- ・コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- ・同梱のねじを使用してください。
- ・枠は水平垂直に取付けてください。
- ・枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。

■固定枠の取付け

- ①固定枠と躯体の間にかい木を入れます。
- ②縦枠、鴨居を指定のねじで固定します。

①かい木について



②縦枠の固定

壁仕上げ面からの出幅が図の位置になるよう取付けてください。

平入納まり

枠見込み	A
NC90	13
NC95	12.5
NC115	12.5
NC140	13
NC156	13
NC171	13
NC180	13

入隅納まり



レール固定側

6 戸当り、目隠しの取付け(c・e固定枠納まりの場合)

■戸当り、目隠しの取付け

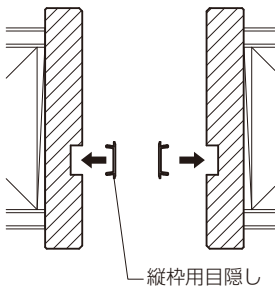
部材一覧表

名称		平入用	入隅用
上枠用目隠し		1	1
縦枠用目隠し		2	2
戸当り		—	1

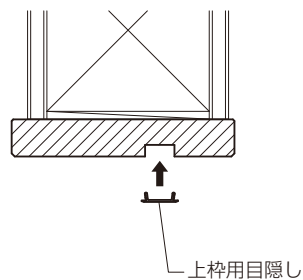
- ①枠の寸法を実測し、戸当り・目隠しを切断します。
- ②戸当り・目隠しの足に木工用接着剤(現場手配)を塗布し、枠に取付けます。
(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

平入納まりの場合

●縦枠

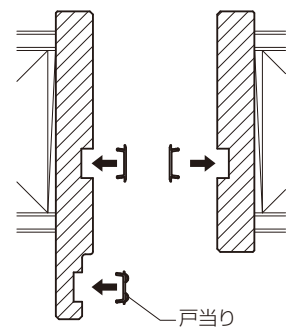


●上枠

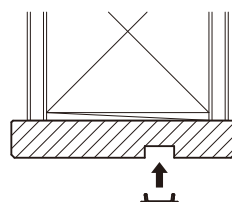


入隅納まりの場合

●縦枠



●上枠



●接着剤塗布部

戸当り	目隠し
	

 : 塗布面

7 下地材の取付け

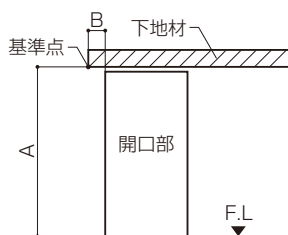
下地材仮固定時のお願い

- 取付け不良となるので、下記事項をお守りください。
- ・下穴をあけてから、ねじを締めてください。
- ・水準器などを使用し水平に取付けてください。
- ・ねじれがないように取付けてください。
- ・ねじの頭は、下地材表面から飛び出さないように取付けてください。

【下地材固定位置】

納まりにより取付け位置が変わります。

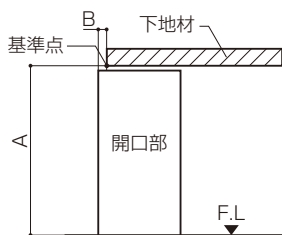
平入納まり



呼称	A
H20	1978
H特注時	DH+5

納まり	B
片面化粧縁	27
両面化粧縁	24
固定枠	17

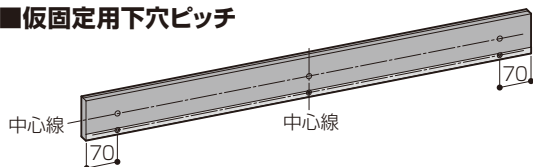
入隅納まり



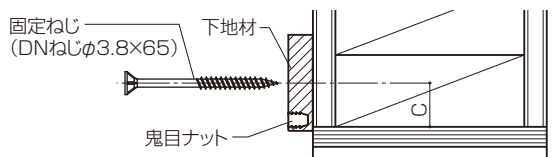
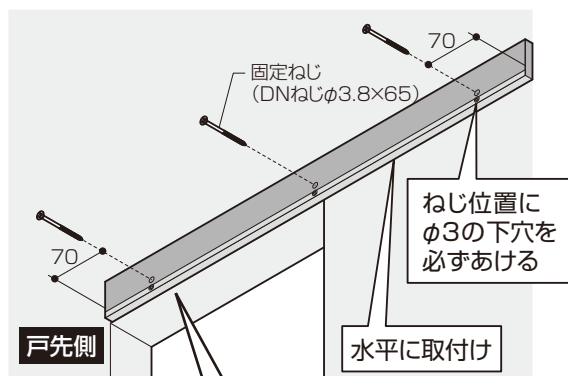
納まり	B
片面化粧縁	3
両面化粧縁	—
固定枠	3

①下地材にφ3の仮固定用下穴(貫通穴)を3ヵ所あけます。

■仮固定用下穴ピッチ



②下地材を指定の取付け位置に、同梱のねじで水平に取付けてください。



※C寸法: 8mm以上確保してください。
8mm以上確保できない場合: 仮固定ねじの位置をずらすなどして補強材に固定してください。

■枠セット一覧表

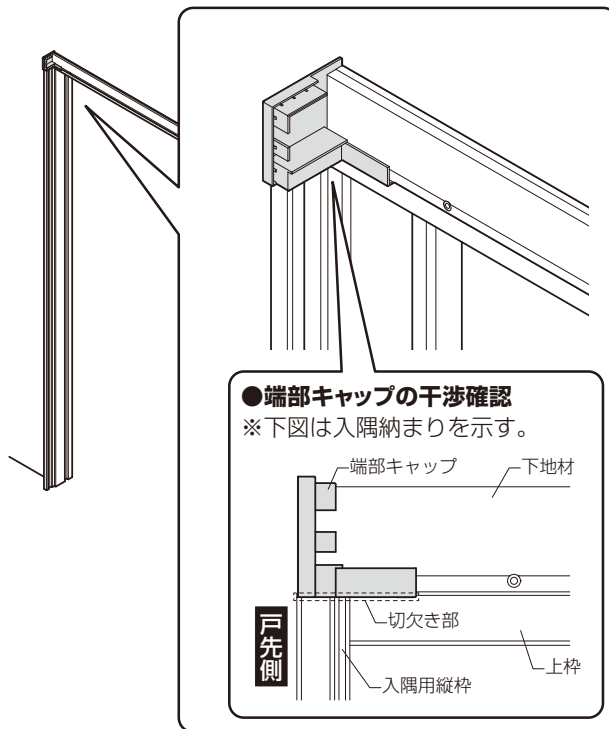
名称		片引戸用
枠	下地材	1
部品セット(片引戸用)		1

■部品セット一覧表 【片引戸用部品セット】

名称	数量
下地材仮固定用 DNねじφ3.8×65	3

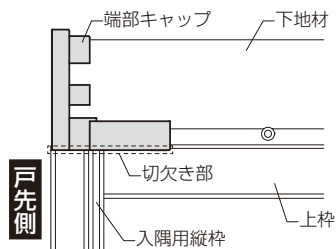
【固定枠納まりの場合】

レール固定前に、戸先側の端部キャップと枠の切り欠きが干渉しないことを確かめてください。
干渉する場合は枠の切り欠きを広げて調整してください。



●端部キャップの干渉確認

※下図は入隅納まりを示す。

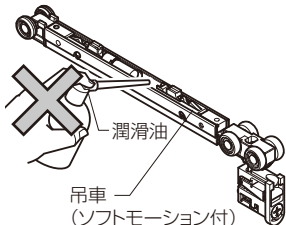


8 上レールへの部品の取付け

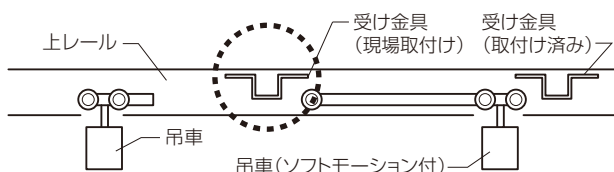
上レール取付け上のお願ひ

●作動不良となるので、下記事項をお守りください。

- ・吊車(ソフトモーション付)に潤滑油などを塗布しないでください。

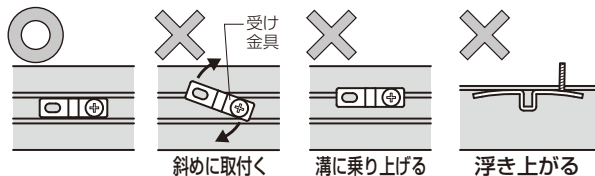


- ・吊車は正しい向きに入れてください。



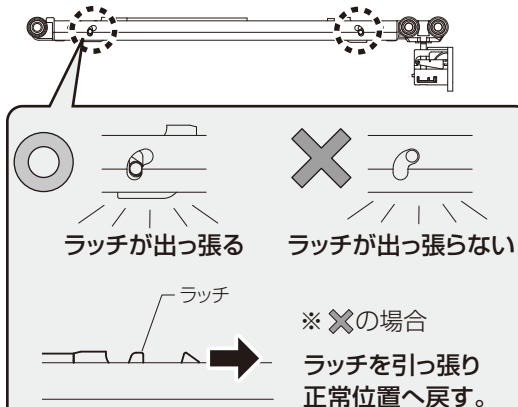
レール固定側

- ・ソフトモーション受け金具は完全に固定されるまで、上レールにしっかりと固定してください。

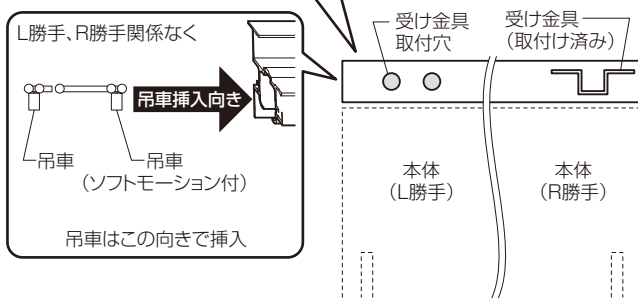


- ①上レールに吊車を挿入します。
- ②受け金具を取付けます。

●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



※もう一方は本図と対象



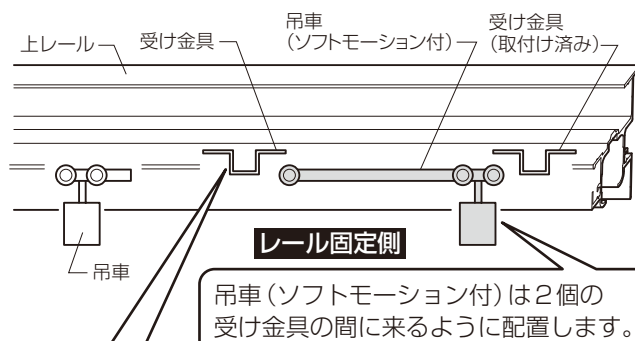
■枠セット一覧表

名称	片引戸用
枠 上レール	1

■部品セット一覧表 【片引戸用部品セット】

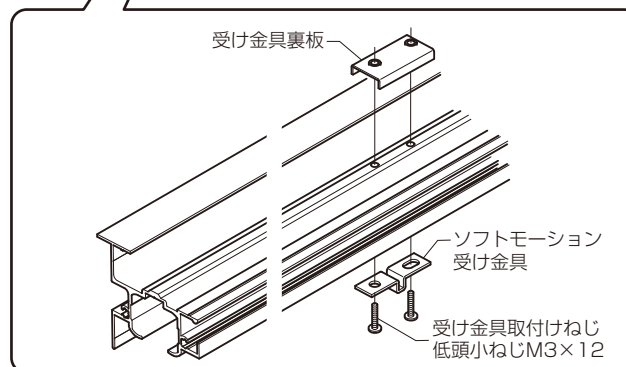
名称	数量
端部ストッパー	2
受け金具取付け用 低頭ねじM3×12	2
受け金具裏板	1
受け金具	1
吊車(ソフトモーション付)	1
吊車	1
上レール取付け用 トラスタッピンねじφ4×50	6
端部ストッパー取付け用 なべタッピンねじφ4×45	4
上レール取付け用 平小ねじM4×8または10 ※26年6月頃から順次M4×8に切り替えています。	3

※レールはL/R兼用のため、L/Rに関わらず吊車の向きは同じになります。



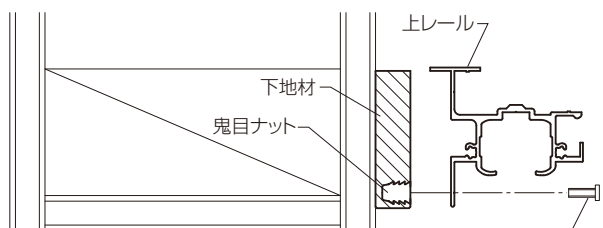
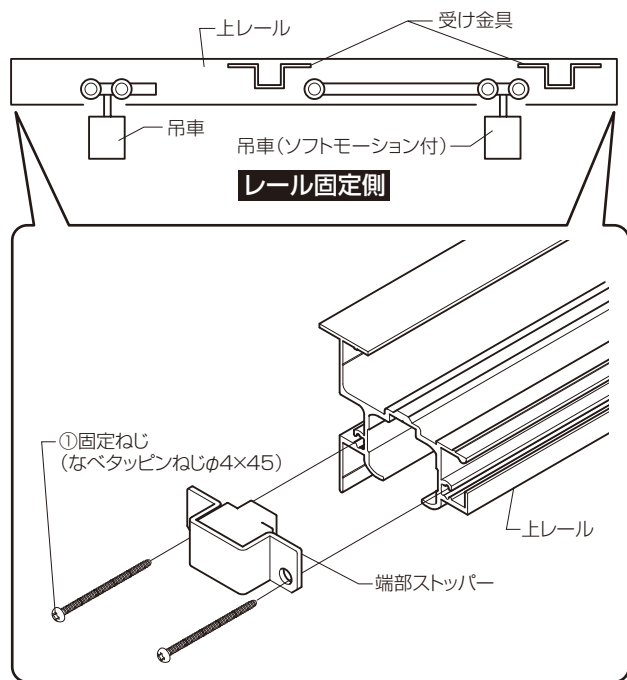
レール固定側

吊車(ソフトモーション付)は2個の受け金具の間に来るように配置します。

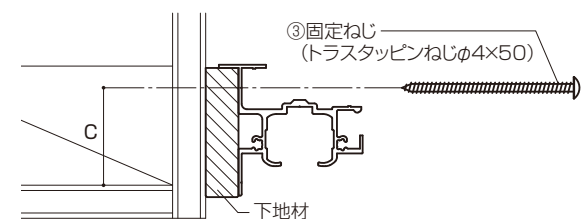
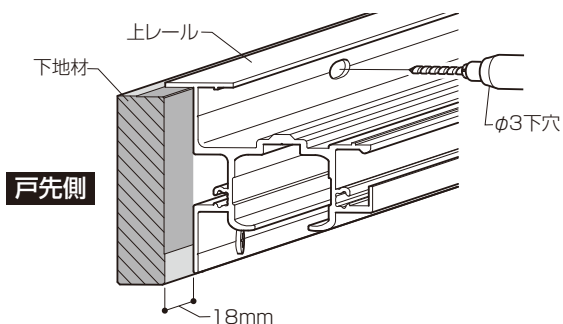


9 上レールの取付け

- ①上レールの両端に端部ストッパーを取付けます。
- ②下地材に上レールを固定します(鬼目ナット部3カ所)。
戸先側の下地材端部からレール端部までの寸法が18mmであることを確認してください。
- ③上レールの加工穴に合わせて、下地材にφ3の下穴をあけ、同梱のねじで固定します。



※26年6月頃から順次M4×8に切り替えています。



※C寸法は8mm以上確保してください。

10 前面カバーの取付け

前面カバー取付け上のお願ひ

- 取付け不良となるので、下記事項をお守りください。
- ・端部キャップは奥まではめ込んでください。
- ・前面カバーを上レールにはめ込んだ後は、軽く引っ張り外れないことを確認してください。

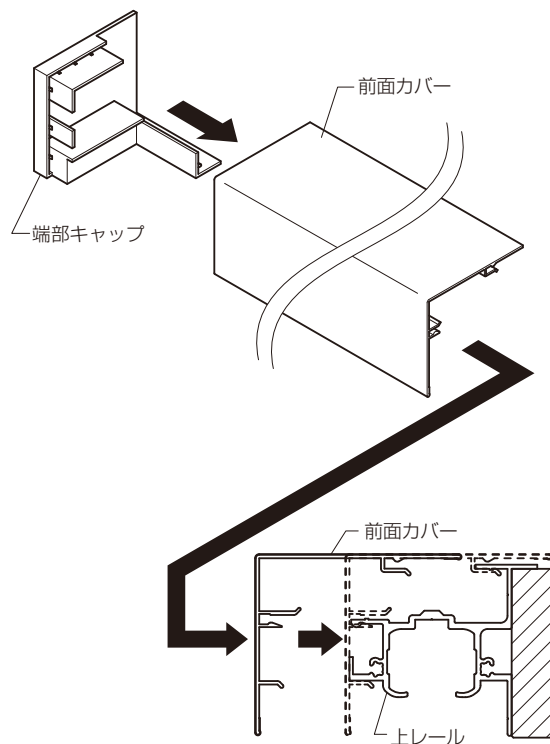
部材一覧表

名称		片引戸用
枠	前面カバー	1

■部品セット一覧表 【片引戸用部品セット】

名称	数量
端部キャップ用 皿タッピンねじφ3×10	2
端部キャップL/R	L/R各1

- ①前面カバーの両端部に端部キャップをはめ込みます。
※しっかり奥まではめ込んでください。
- ②前面カバーを上レール前面からはめ込みます。
※前面カバーを軽く引っ張り、外れないことを確認してください。

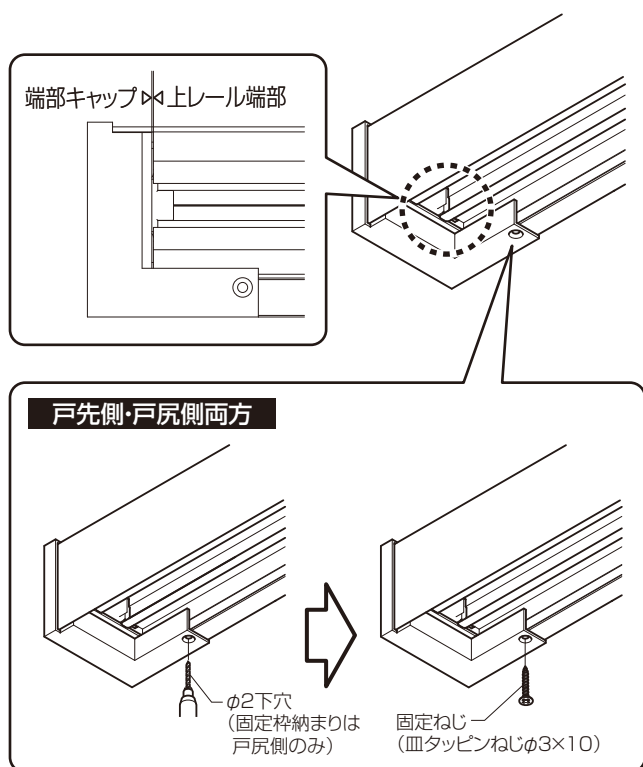


Ⅳ 端部キャップの固定

●端部キャップの下面加工穴に合わせて下地材にφ2の下穴をあけ、同梱のねじで固定します。

※固定枠納まりの場合、戸先側のみ**2**固定枠取付けの準備にて下穴をあけています。下穴に合わせて同梱のねじで固定してください。

※横位置は上レール端部と端部キャップが面になるように合わせてください。



12 入隅用縦部材の取付け(d 化粧縁納まりの場合)

入隅用縦部材取付け上のお願ひ

●開閉に支障が出るので、縦部材は、垂直に取付けてください。

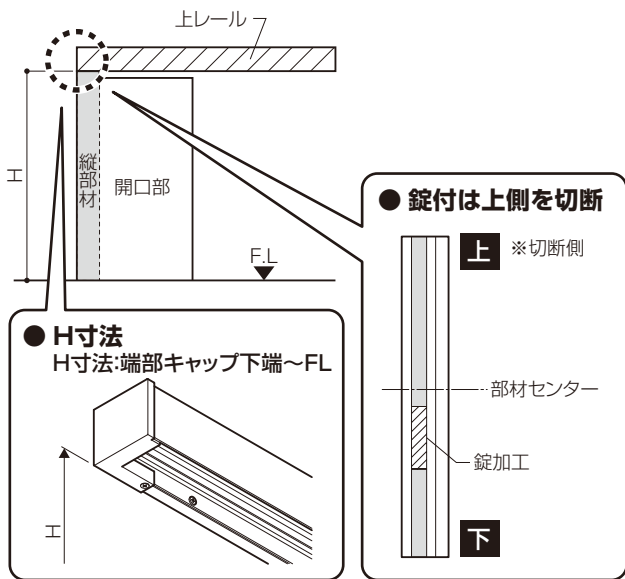
【鉚付きの場合】

●下側を切断すると本体との鉚位置が合わなくなるので、必ず上側を切断してください。

■入隅用縦部材セット一覧表(別売品)

名称	数量
縦部材	1
戸当り	1

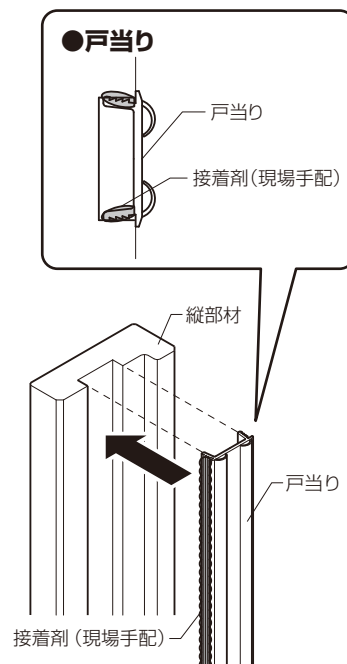
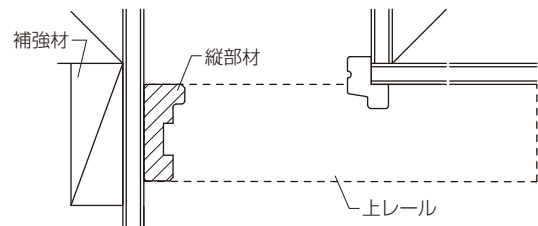
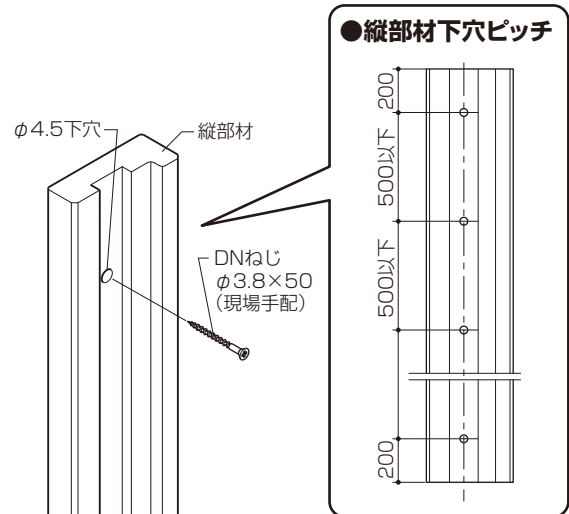
①端部キャップ下面と床の内法寸法Hに合わせ、縦部材を上側から切断します。



②縦部材にφ4.5の下穴を開け、DNねじ(φ3.8×50)(別売品)で固定します。

③戸当りを実測寸法で切断し、木工用接着剤(現場手配)を塗布して取付けます。

(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



13 化粧縁の取付け(a・b・d 化粧縁納まりの場合)

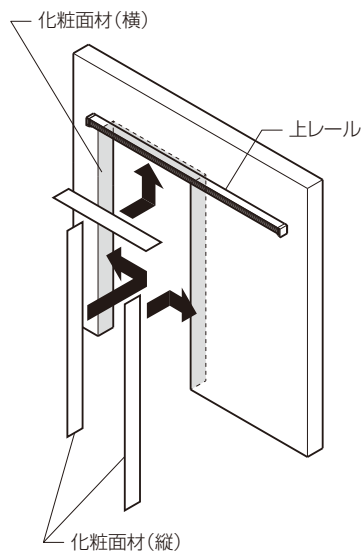
■化粧縁セット一覧表

名称	片面	両面
化粧縁(縦)(本体側)	2	2
化粧縁(縦)	—	2
化粧縁(横)(本体側)	1	1
化粧縁(横)	—	1
調整部材	1	1
化粧面材(縦)	—	2
化粧面材(横)	—	1
ポリネートチューブ	—	2

■化粧面材の取付け(両面化粧縁納まりの場合)

●化粧面材を開口部に取付けます。

※裏面に木工用接着剤(現場手配)をまんべんなく塗布して固定してください。



■化粧縁の取付け

①化粧縁を現場寸法に合わせて切断します。

②【片面化粧縁納まりの場合】

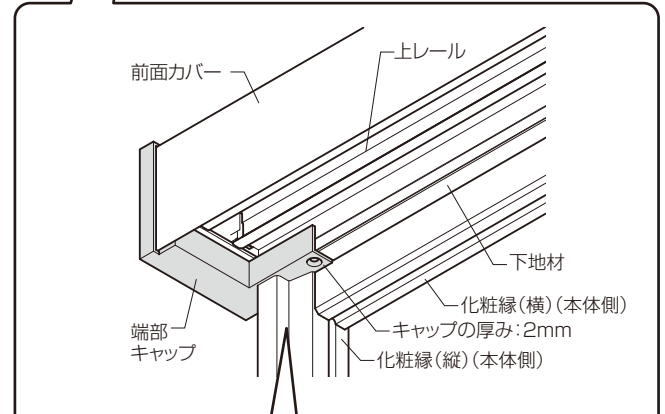
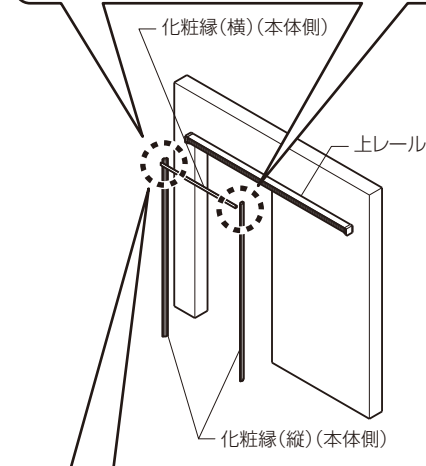
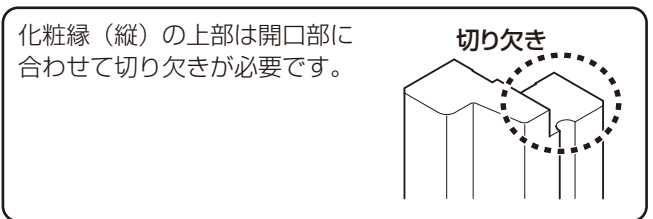
化粧縁の裏面に接着剤(現場手配)を塗布します。

【両面化粧縁納まりの場合】

化粧縁の裏面に同梱のポリネートチューブをムラなく塗布します。

※ポリネートチューブを塗布後、少し放置してから貼合わせてください。

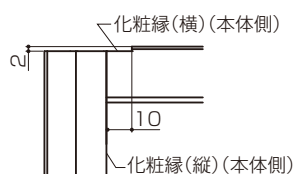
③かくし釘(現場手配)で固定します。(200～300mmピッチ)



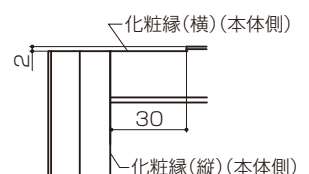
●加工形状イメージ

取付け誤差がありますので、端部キャップが干渉する部分を実測して、切り欠き寸法を決定してください。

平入納まり



入隅納まり



Ⅳ ガイドピンの取付け

ガイドピンの取付け上のお願ひ

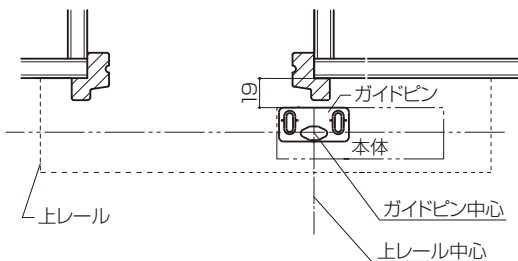
- 本体の開閉操作に支障が出るので、ガイドピンは正確な位置に取付けてください。

■部品セット一覧表 【片引戸用部品セット】

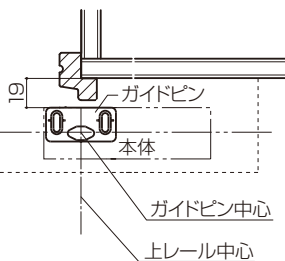
名称		数量
固定ガイドピンセット	固定ガイドピン	1
	固定ガイドピン/固定用	2
	皿タッピンねじΦ3.5×20	

- ガイドピンを下図の位置に合わせて床に固定します。
- ※推奨納まりと異なる納まりの場合は、ガイドピンの突起中心を上レール中心に合わせて配置してください。

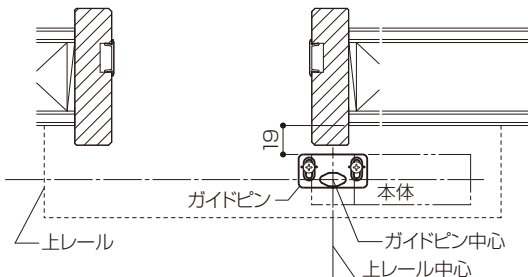
片面化粧縁納まり



両面化粧縁納まり



固定枠納まり



●ガイドピン固定位置



凸印(ライン)の位置にねじ止め

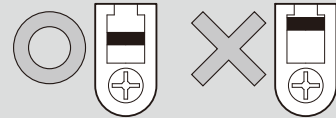
- ※壁付け用ガイドピン、中縦枠取付けガイドピンを使用する場合は、各ガイドピンセットに同梱の取付け説明を参照ください。

Ⅴ 本体の吊込み

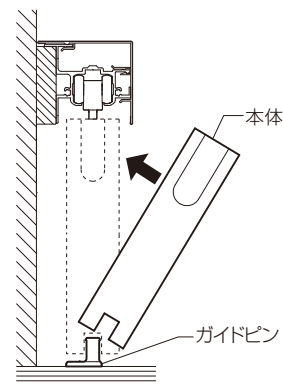
▲ 注 意



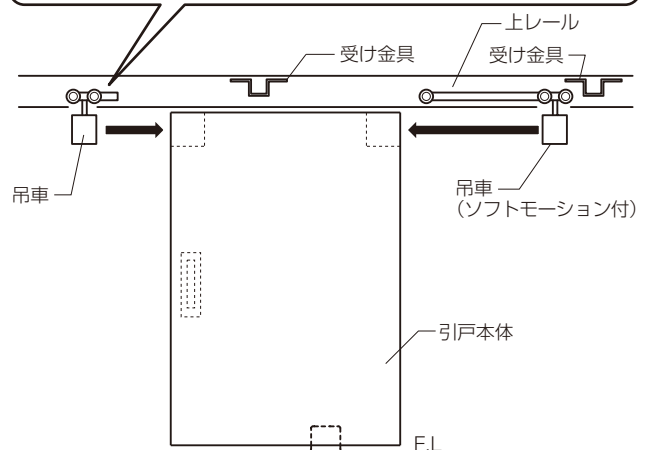
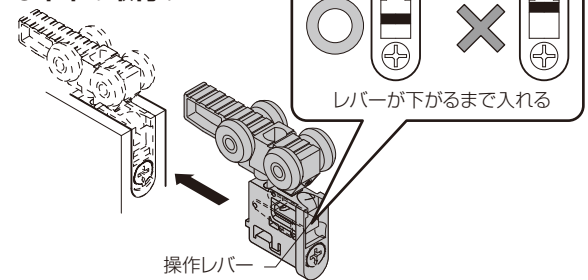
- 吊車はレバーが下がるまで入れてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。



- ①本体をガイドピンにはめます。
 - ②本体を持ち上げて吊車を取付けます。
- ※吊車はレバーが下がるまで押込んでください。
 - ※戸先側に把手加工がくるように本体を吊込んでください。
 - ※レールはL/R兼用のため、L/Rに関わらず吊車の向きは図の向きです。
 - ※本体が前面カバーに当たって吊込みにくい場合は、一度前面カバーを外してください。
- (20前面カバーの取外し方法参照)



●吊車の取付け



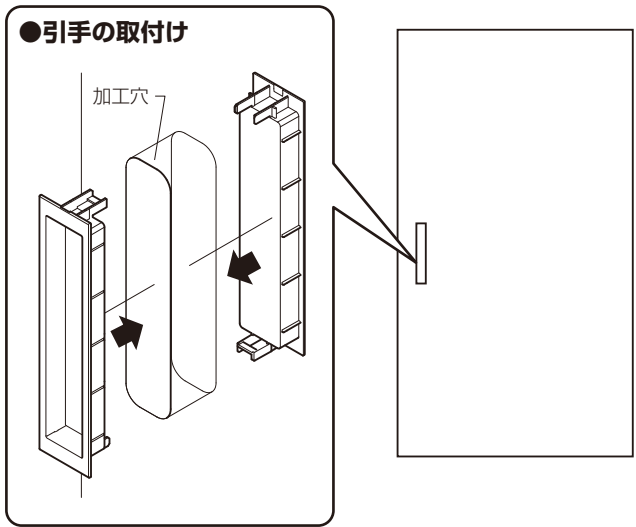
16 本体への部品付け

■引手の取付け

- ①仮組みされた引手を平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■引手セット(別売り)

名称	数量
引手	2



■プッシュ錠セット(別売り)

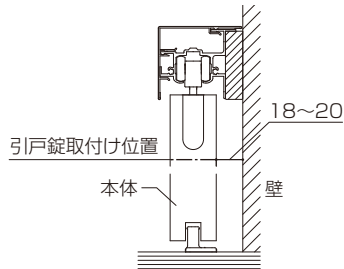
名称	数量
プッシュ錠本体	1
錠座カバー	1
カギ(シリンダー錠のみ)	3

※錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

17 錠受けの取付け

錠受け取付け上のお願ひ

- 部品が脱落することがあるので、本体が上部ストッパーより先に錠受けに当たらないように取付けてください。
 - 施錠できなくなるので、壁と本体のチリ寸法は、18～20mmにしてください。
- 本体の調整(P.17)



■錠受けセット(別売り)

名称	数量
錠受けベース	1
錠受けカバー	1
引戸錠受け	1
錠受け取付け用皿小ねじM4×10	2
ベース取付け用トラスタッピンねじφ4×40	2

※錠受けに左右はありません。

納まりに合わせて向きを変えて取付けます。

①同梱のねじで、錠受けベースを壁面に取付けます。

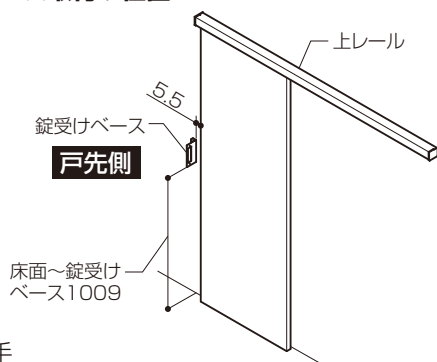
※錠受けベースは、本体を閉めた状態で5.5mmあけた位置に取付けてください。

※取付けねじは、柱または間柱に固定してください。

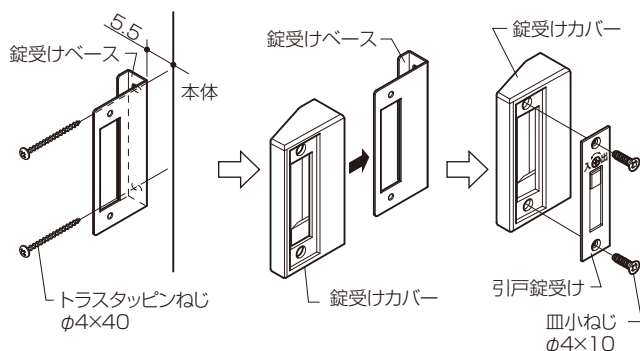
②錠受けカバーを錠受けベースにかぶせます。

③引戸錠受けを錠受けカバーに取付け、同梱のねじで固定します。

●錠受けベース取付け位置

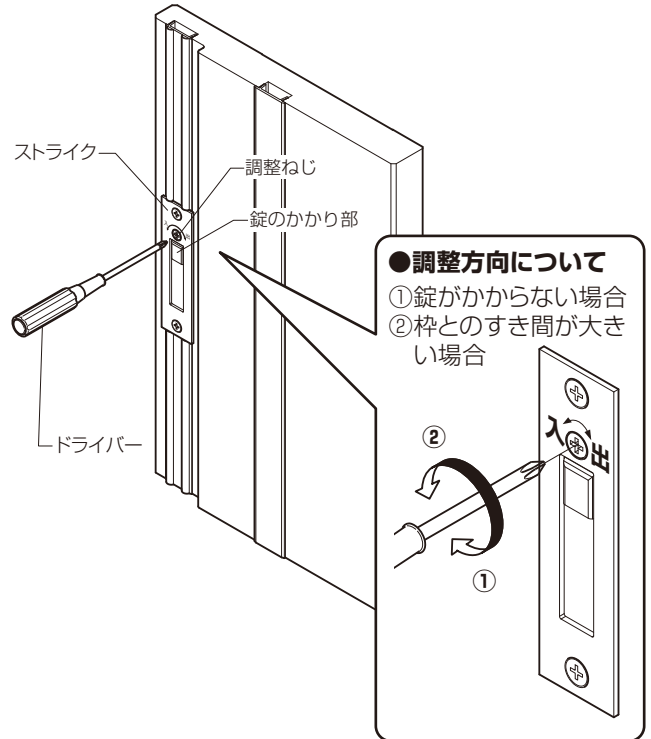


※図はL勝手



●引戸錠のかかり調整

- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



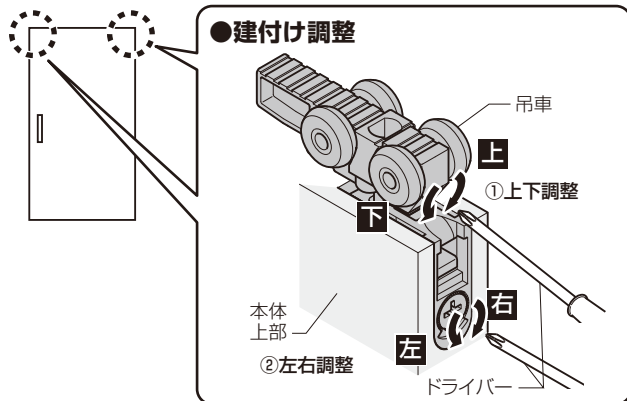
18 本体側の調整について

本体調整上のお願い

- 本体下部のはずれや、こすれの原因となるので上下調整は範囲内で行ってください。(本体と床のすき間:7~12mm)

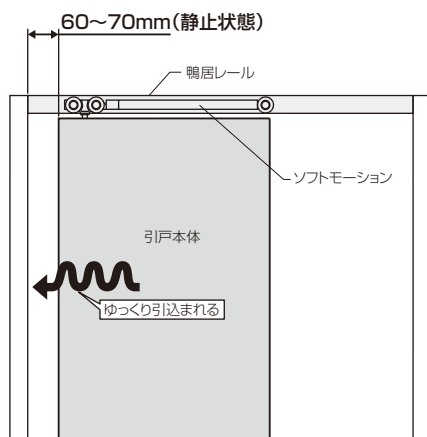
●建付け調整について

- ①上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ②左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



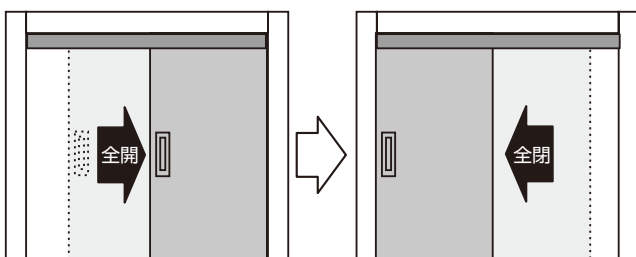
●ソフトモーションについて

- ・静止状態で枠から60~70mmで引き込みされます。
- ・開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



●ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性あります。

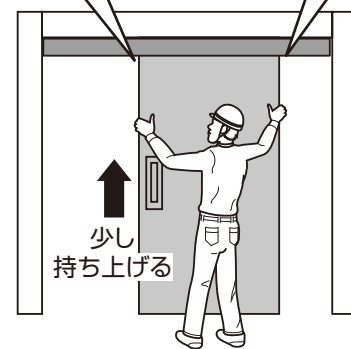
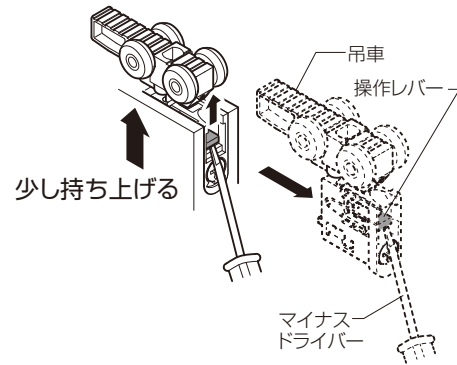


19 本体・引手の取外し方法

●本体の取外し方法

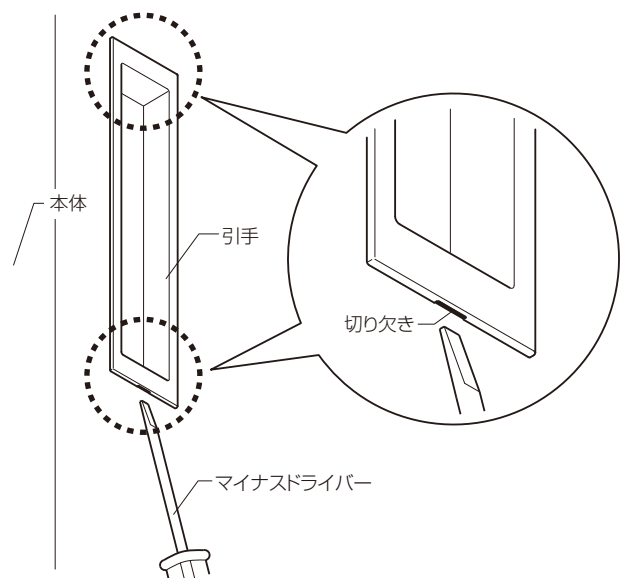
- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重をかからないようにしてください。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜いてください。

●吊車の取外し方法



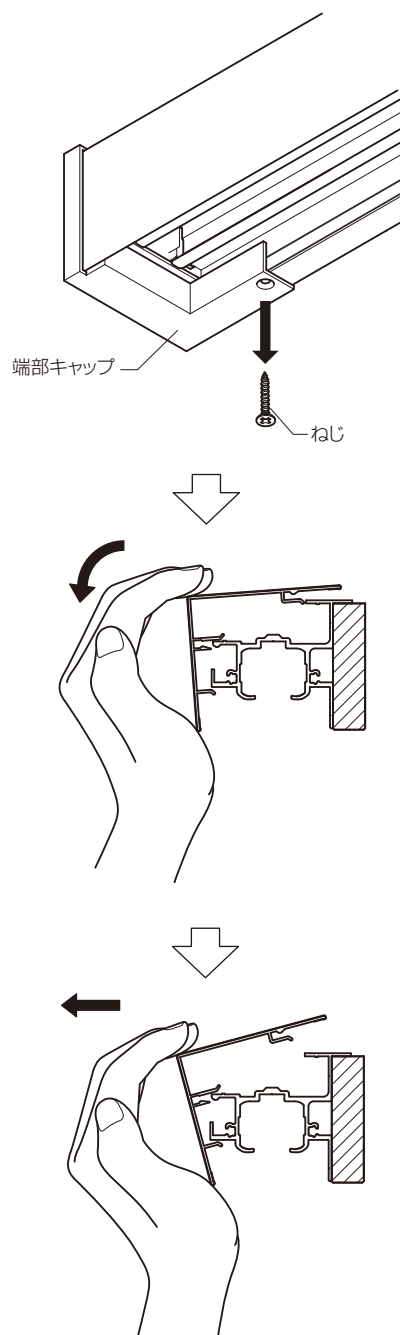
●引手の取外し方法

マイナスドライバーなどを切り欠きに入れて外してください。



20 前面カバーの取外し方法

- ①端部キャップの下面ねじを外します。
- ②下図のように力を加えながら前面カバーを外します。



21 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。

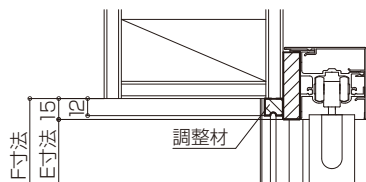


■納まり図

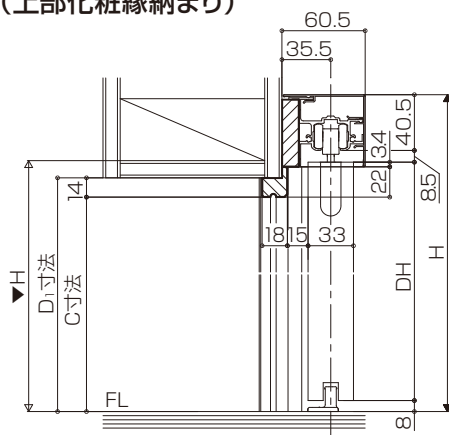
■片面化粧縁納まり

●縦断面図

(上部調整材納まり)



(上部化粧縁納まり)



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A ₁ 寸法	A ₂ 寸法	B ₁ 寸法	B ₂ 寸法
W13(1324)	624	604	662	632
W15(1560)	742	722	780	750
W16(1644)	784	764	822	792
W18(1824)	874	854	912	882

H呼称(枠外寸法)	C寸法	D ₁ 寸法	E寸法	F寸法
H20(2030)	1956	1970	1978	1993

算出式

片面入隅納まりの場合：

$$\text{有効開口} A_1 = (W - 76) / 2, B_1 = W / 2$$

片面化粧縁納まりの場合：

$$\text{有効開口} A_2 = (W - 116) / 2, B_2 = (W - 60) / 2$$

上部化粧縁納まりの場合：

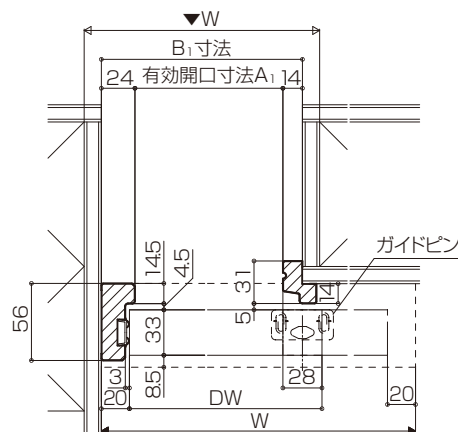
$$\text{有効開口} C = H - 74, D_1 = H - 60$$

上部調整材納まりの場合：

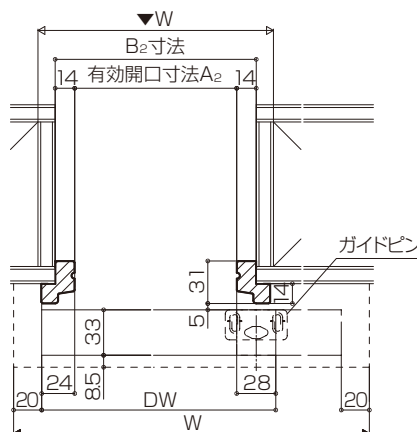
$$\text{有効開口} E = H - 52, F = H - 37$$

●横断面図

(片面入隅納まり)



(平入納まり)

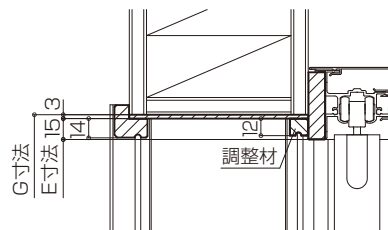


※開口の位置と固定ガイドピンの位置は連動しませんので、必ず14ガイドピンの取付けを参照してください。

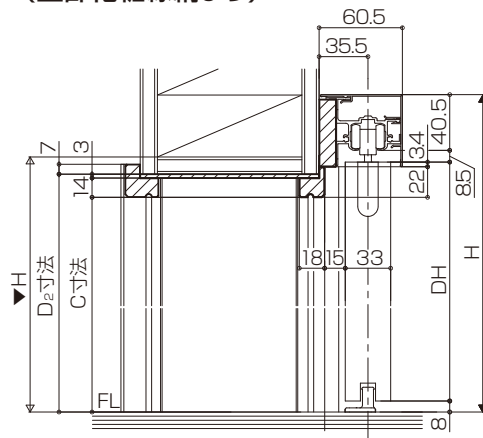
■両面化粧縁納まり

●縦断面図

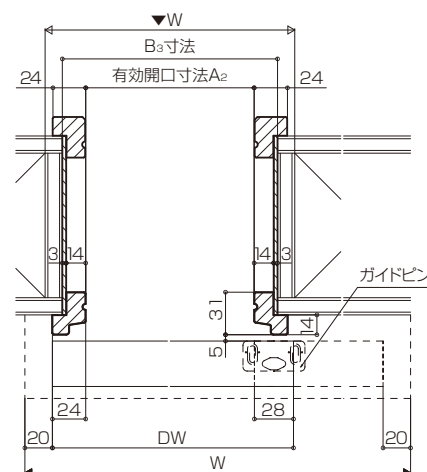
(上部調整材納まり)



(上部化粧縁納まり)



●横断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A ₂ 寸法	B ₃ 寸法
W13(1324)	604	638
W15(1560)	722	756
W16(1644)	764	798
W18(1824)	854	888

H呼称(枠外寸法)	C寸法	D ₂ 寸法	E寸法	G寸法
H20(2030)	1956	1973	1978	1996

算出式

両面化粧縁納まりの場合：有効開口A₂=(W-116)/2、
B₃=(W-48)/2

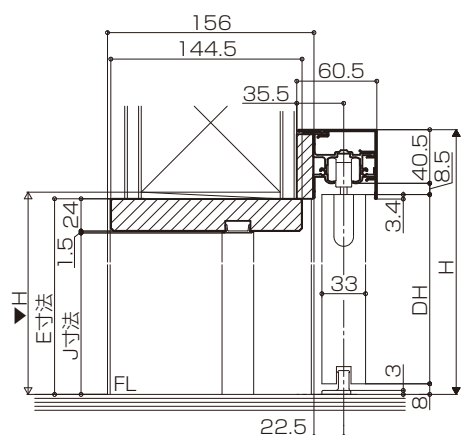
上部化粧縁納まりの場合：有効開口C=H-74、D₂=H-57

上部調整材納まりの場合：有効開口E=H-51、G=H-34

※開口の位置と固定ガイドピンの位置は連動しませんので、必ず14ガイドピンの取付けを参照してください。

■固定枠納まり

●縦断面図



有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	入隅納まり		平入納まり	
	A寸法	B ₁ 寸法	A寸法	B ₂ 寸法
W13(1324)	621	672	601	652
W15(1560)	739	790	719	770
W16(1644)	781	832	761	812
W18(1824)	871	922	851	902

H呼称(枠外寸法)	E寸法	J寸法
H20(2030)	1978	1952.5

算出式

入隅納まりの場合:

有効開口寸法A=(W-82)/2、B₁寸法=(W+20)/2

平入納まりの場合:

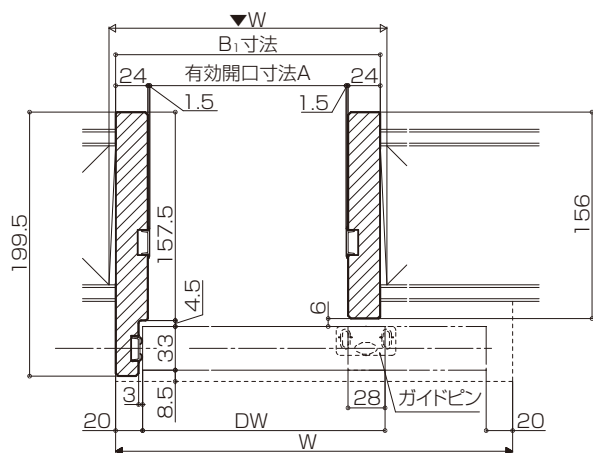
有効開口寸法A=(W-122)/2、B₂寸法=(W-20)/2

E寸法=H-52

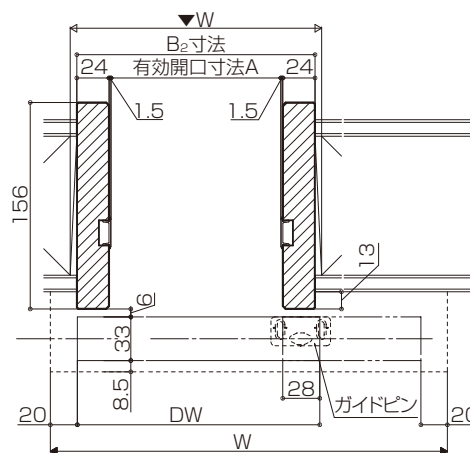
J寸法=H-77.5

●横断面図

(入隅納まり)



(平入納まり)



※開口の位置と固定ガイドピンの位置は連動しませんので、必ず**14**ガイドピンの取付けを参照してください。